

<一般会計>

1 子ども部

- 1 多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。
 - 子どもの遊び場確保の取組み……………107
 - 出産費用助成……………107
 - 中高生世代応援手当……………108
 - 乳幼児医療費助成……………108
 - 義務教育就学児医療費助成……………108
 - 高校生等医療費助成……………108
 - 私立保育所等への運営補助関連事業……………109
 - 私立保育所等運営補助（認可保育所）……………109
 - 私立保育所等運営補助（認定こども園）……………109
 - 認証保育所等運営補助……………109
 - 私立学童クラブへの運営補助関連事業……………110
 - 富士見わんぱくひろば事業運営……………110
 - 私立学童クラブ運営補助……………110

- 2 すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。
 - 子どもの権利推進……………111
 - 産官学連携推進……………111
 - 給付型奨学金……………112
 - 教材費補助……………112
 - 和泉小学校・いずみこども園等施設整備……………113
 - 番町小学校・幼稚園整備計画の検討……………113
 - 部活動の推進……………114
 - I C T学校教育システムの推進……………114
 - 学校行事……………115
 - 幼稚園給食……………115
 - （仮称）四番町公共施設整備（工事費）……………116
 - （仮称）四番町公共施設整備（工事監理委託料）……………116
 - （仮称）四番町公共施設整備（事務費）……………116

- 3 お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、
自分らしく、自立した生活を送ることができています。
- 特別支援サポート……………117
 - いじめ・不登校防止プロジェクト……………117
 - 発達障害等の療育経費助成……………118
- 4 人とのつながりが感じられ、支えあうことができています。
- 子どもの安全・安心……………118

子どもの遊び場確保の取組み

63,478千円 (87,008 千円)

拡充

▶子育て推進課

区は、区内の様々な資源を子どもの遊び場としても活用できるよう積極的に取り組んでいます。また、区立公園等においては運用方法を工夫するなど、子どもが自由に外で遊ぶことができる環境づくりに努めています。

令和7年度は、旧九段中学校の校庭・体育館を遊び場として使用できるようにし、子どもの遊び場のさらなる充実に取り組んでいきます。

また、夏に猛暑日が続く異常気象が常態化しつつある中、夏場でも子どもが安全に遊べるように、旧九段中学校の体育館及び一部区立小学校の体育館を開放します。

■新規遊び場概要

【場 所】旧九段中学校（校庭・体育館）

【所在地】富士見一丁目1番6号

【開放日】毎日（年末年始を除く）

【時 間】9時～17時

R8 見込額：65 百万円 R9 見込額：65 百万円

出産費用助成

186,000千円 (ー 千円)

新規

▶子育て推進課

国全体の合計特殊出生率が減少傾向にあり、東京都では合計特殊出生率が全国最低を記録するなど、少子化が一層進行する中、区の出生数においても、平成29年度をピークに増減を繰り返しながらも減少に転じています。

令和5年に、出産育児一時金が42万円から50万円に引き上げられましたが、都内の公的・私的病院及び診療所における正常分娩費用の平均額は、出産育児一時金を上回っており、子どもを産み育てようとする世帯の負担となっています。

令和7年度は、子どもを持つことを希望する人が、子どもを安心して産み育てられると前向きになれるように、出産費用について、出産育児一時金を上回り自己負担が生じた場合に助成（上限額：31万円）することで、経済的負担の軽減を図ります。

R8 見込額：192 百万円 R9 見込額：192 百万円

中高生世代応援手当

582,600千円 (— 千円)

新規

▶子育て推進課

区は、妊娠時から広く手当を支給し、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次世代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的として、児童手当の対象とならない児童を養育する保護者等に次世代育成手当を支給してきました。

児童手当法の改正により児童手当が拡充され、高校生等が支給対象となるとともに所得制限が撤廃されたことに伴い、次世代育成手当の支給要件に該当する児童がいなくなりました。

中学生以降の子育てに係る経費が増大する実態を踏まえ、令和7年度からは、中学生・高校生等を養育する保護者等に対して、新たに中高生世代応援手当を支給(子ども1人あたり月額15,000円)し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

R8 見込額：594 百万円 R9 見込額：594 百万円

乳幼児医療費助成

173,483千円 (202,270 千円)

義務教育就学児医療費助成

288,643千円 (304,166 千円)

高校生等医療費助成

83,270千円 (84,941 千円)

拡充

▶子育て推進課

区は、18歳に達した日以降最初の3月31日までの間にある子どもが、医療機関で治療を受けた際の保険診療の自己負担分について全額助成しています。

令和7年度は、これまで助成の対象外だった入院時の食事療養標準負担額についても全額助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

R8 見込額：562 百万円 R9 見込額：562 百万円

私立保育所等への運営補助関連事業	5,824,077 千円	(5,605,669 千円)
1 私立保育所等運営補助(認可保育所)	4,328,869千円	(4,146,792 千円)
2 私立保育所等運営補助(認定こども園)	409,948千円	(391,437 千円)
3 認証保育所等運営補助	1,085,260千円	(1,067,440 千円)

拡充 ▶子ども支援課

私立保育所等の安定的な運営を継続していくため、保育事業者に対し、栄養士や看護師など専門職を配置した場合等の人材確保に係る経費や、家賃補助等の運営に係る経費を助成しています。

令和7年度は、認可保育所・認定こども園において、特に支援などを要する乳幼児に対応するため、国の職員配置の基準を超えて保育士等を配置した場合の加算額単価を増額することで、保育の質の向上を図ります。

また、認証保育所等においては、障害児の受入促進補助や、地域の需要に応じた保育サービスの提供に係る補助を拡充することで、多様なニーズに応えるとともに、地域の子育て支援を強化します。

R8 見込額：5,999 百万円 R9 見込額：5,999 百万円

私立学童クラブへの運営補助関連事業	822,786千円	(716,088 千円)
1 富士見わんぱくひろば事業運営	150,634千円	(108,703 千円)
2 私立学童クラブ運営補助	672,152千円	(607,385 千円)

拡充 ▶児童・家庭支援センター

区は、保護者の就労等の理由により、放課後等に適切な保育を受けられない小学生に遊びと生活の場を提供するため、民間事業者が運営する学童クラブ事業や拡大型を含む一時預かり保育事業等の運営支援を行い、子どもたちの健全な育成と子育て家庭の支援を行っています。

令和7年4月に、私立学童クラブ2か所を新たに開設しました。

令和7年度も引き続き、民間が運営する学童クラブの運営を支援することで、保護者の就労支援の充実を図ります。

■令和7年4月開設の私立学童クラブ

①富士見わんぱくひろば学童クラブ分室

【所在地】富士見一丁目1番6号(旧九段中学校内幼稚園仮園舎)

【運営事業者】株式会社ポピンズエデュケア

【定員】40名

②スターチャイルド学童クラブ和泉橋

【所在地】東神田二丁目6番5号東神田ビル1階

【運営事業者】ヒューマンスターチャイルド株式会社

【定員】40名

R8 見込額：823 百万円 R9 見込額：784 百万円

子どもの権利推進

9,950千円 (1,000 千円)

拡充

▶子ども総務課

区は、全ての子どもが自分らしく健やかに安心して過ごすことができるように「子どもの権利に関するリーフレット」を作成し、子どもの権利について普及啓発を実施しています。

令和5年4月にこども基本法が施行され、令和6年3月にはこども家庭庁において「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」が策定されるなど、子どもの権利の普及啓発、子ども等の意見聴取や政策への反映に係る取組みをさらに推進していく必要があります。

令和7年度は、区内在住の生徒等や保護者を対象としたアンケートの実施により、区が子ども・保護者に広く情報を発信する方法や、子どもが区に思いを伝えられる方法等について検討します。

また、区内在住の小学生を対象にワークショップを実施し、子どもたちが区政に対するアイデアを出し、意見表明をしてもらう機会を設け、子どもの区政に対する興味関心の向上を図ります。

R8 見込額：3百万円 R9 見込額：1百万円

産官学連携推進

3,100千円 (10,225 千円)

拡充

▶子ども総務課

区は、令和5年度に策定した「今後の学校等のあり方基本構想」を基に、子どものより良い教育環境の充実にに向けた取組みを進めています。

令和7年度は、令和6年度に構築した学校と企業等の連携スキームを基に、学校と企業等をつなぐ橋渡し役としてコーディネーターを設置し、学校・企業等の連携をさらに進めることで、子どもたちの主体性や創造力を育むための実践的な学びの機会を創出していきます。

R8 見込額：31百万円 R9 見込額：31百万円

給付型奨学金

14,190千円 (— 千円)

新規

▶子ども総務課

学業に意欲と能力を持ち、大学等への進学を希望する生徒が、個々の家庭環境等に関わらず望む教育を受けられるように支援をしていく必要があります。

令和7年度は、保護者が区内に住所を有する生徒を対象に、学業成績や学習意欲、進学目的等を踏まえて選考したうえで、給付型奨学金を支給することで、生徒の学びたい気持ちを支援します。

R8 見込額：24 百万円 R9 見込額：36 百万円

教材費補助

67,212千円 (52,511 千円)

拡充

▶学務課

区立学校では、児童・生徒の学びを深めるとともに、学習内容の習熟を図るため、教科用図書以外にも様々な教材を活用しています。

令和7年度は、公教育の充実を図るため、区立小学校・中学校・中等教育学校（前期課程）の児童・生徒が教室で使用する副読本やドリルなどの教材費を全額補助します。

R8 見込額：69 百万円 R9 見込額：69 百万円

和泉小学校・いずみこども園等施設整備 26,243千円 (19,434千円)
 ▶子ども施設課

和泉小学校・いずみこども園等施設は昭和62年の竣工から築37年が経過し、設備などの老朽化が進んでいることに加え、各階で利用者動線の混在などの課題を抱えていることから、建替えに向けた検討を進めています。

令和7年度は、令和6年度に引き続き、隣接する和泉公園との一体的な整備に向けた検討を進め、構想として取りまとめた後に、和泉公園の都市計画決定(変更)と施設・公園の基本計画の策定に取り組みます。

また、本件施設整備を踏まえた旧和泉町ポンプ所跡地の効果的な活用策について検討し、基本計画等へ反映します。

■整備スケジュール(予定)

- 令和4年度～5年度 施設の基本構想
- 令和6年度～7年度 施設と公園の一体的整備構想
- 令和7年度～ 都市計画決定(変更)、基本計画
- 基本計画策定以降(施設/予定)
- 1～2年目 基本設計・実施設計
- 3～5年目 新築工事
- 5年目 竣工

※公園の整備は施設の竣工後から開始します。

R8 見込額：- R9 見込額：-

番町小学校・幼稚園整備計画の検討 5,815千円 (ー千円)
 新規 ▶子ども施設課

築50年以上が経過している番町小学校・幼稚園については、老朽化が進んだ校舎の機能更新にあたり、良好な教育環境の確保に加え、防災拠点としての役割も踏まえ、効果的かつ効率的に整備を進める必要があります。

令和7年度は、これまでの基礎調査を踏まえ、学校・園関係者等との意見交換等を行い、整備に向けた検討を行います。

R8 見込額：10百万円 R9 見込額：完了

部活動の推進

88,156千円 (78,523 千円)

拡充

▶指導課、九段中等教育学校経営企画室

区は、国の「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」を踏まえ、令和5年度から部活動の一部について、外部委託による指導を平日も含めて試行的に実施しています。

国は、令和5年度からの3年間で改革推進期間と定めていましたが、新たに令和8年度からの6年間で改革実行期間と位置付ける方向性を示しています。

令和7年度は、改革推進期間の最終年度となることから、学校の意向を踏まえた外部委託による部活動をさらに拡大するとともに、試行実施で明らかとなった指導の質の向上や教員の働き方改革に対する成果を整理することで、部活動の地域移行の本格実施に向けた準備を進めます。

R8 見込額：88 百万円 R9 見込額：88 百万円

ICT学校教育システムの推進

376,822千円 (331,796 千円)

拡充

▶九段中等教育学校経営企画室

区は、新たな時代を生き抜く人材の育成に向け、教育施設へのICT環境を整備し、教育活動で活用するほか、校務にも活用することで教職員の働き方改革を進めています。

令和7年度は、令和6年度に文部科学省の高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）の採択校となった九段中等教育学校において、区立校のモデルとして、デジタル等成長分野を支える人材育成の充実を図るための環境整備と、探究を軸とした数理・データサイエンス・AIなどを含むSTEAM教育[※]の学習を取り入れたプログラム学習を実施します。

※STEAM教育：科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術・リベラルアーツ（Arts）、数学（Mathematics）の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念。知る（探究）とつくる（創造）のサイクルを生み出す、分野横断的な教育

R8 見込額：336 百万円 R9 見込額：356 百万円

学校行事

45,418千円 (33,641 千円)

拡充

▶九段中等教育学校経営企画室

九段中等教育学校では、九段探究プランとして「STEAM」「グローバル」「アントレプレナーシップ※」の3つの領域や、各教科の教育活動を探究的な学びでつなぎ、生徒自らが進んで学び、自分らしさを確立するための教育を行っています。

令和7年度は、グローバル（海外大学体験）の学習がメインであるUCLA海外研修旅行（選抜型）に加え、STEAM（モノづくり）の学習に重きを置いたシリコンバレー海外研修（選抜型）を実施します。研修では、最先端企業や研究所、科学博物館等を訪問し先進的なデジタル技術の発展に直接触れることで、STEAM教育を推進します。

※アントレプレナーシップ：様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず、自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神や姿勢

R8 見込額：44 百万円 R9 見込額：44 百万円

幼稚園給食

68,389千円 (38,180 千円)

拡充

▶学務課

区は、園児が食べる喜びや楽しさ、食べ物への興味や関心を通じて自ら進んで食べようとする気持ちが育つように食育を推進しています。

令和7年度は、区立幼稚園に通う園児の健康の増進と食育の推進を図るとともに、保護者の負担を軽減するため、お茶の水幼稚園において給食提供を開始します。また、麴町幼稚園、九段幼稚園、番町幼稚園においては、引き続き給食提供に向けた検討を進め、給食提供が可能となるまでの間については、弁当を提供し、園児の食育の推進、保護者の負担軽減を図ります。

R8 見込額：70 百万円 R9 見込額：70 百万円

(仮称)四番町公共施設整備(工事費)	901,000千円	(1,346,000 千円)
(仮称)四番町公共施設整備(工事監理委託料)	38,000千円	(62,802 千円)
(仮称)四番町公共施設整備(事務費)	7,448千円	(6,707 千円)

※工事費及び工事監理委託料の金額は、地域振興部、環境まちづくり部、政策経営部分を含みます。

▶子ども施設課

四番町保育園・児童館等施設は、四番町図書館、住宅等も含めた一体的な施設整備を行っています。

新たな施設は安全・安心をベースとし、子育て機能の拡充と住みよい住環境の実現をコンセプトに、バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮とともに、自然エネルギー・再生可能エネルギー利用の促進など、居住者・利用者と環境に配慮した施設をめざしています。

令和8年度の竣工に向けて、令和7年度も引き続き、新築工事を進めていきます。

【所在地】四番町1番地、11番地

【延床面積】11,929.45㎡

【階数】地上12階、地下1階

【整備費】約12,087百万円(設計を含む)

【竣工予定】令和8年度

【主な機能】四番町保育園、四番町児童館、四番町図書館、区営住宅、職員住宅、区民集会室、防災備蓄倉庫

■整備スケジュール(予定)

平成29年度	基本構想
平成29年度～30年度	基本設計
平成30年度～令和元年度	実施設計
令和元年度～6年度	解体・新築工事
令和7年度～8年度	新築工事
令和8年度	竣工

R8 見込額：6,639百万円 R9 見込額：完了

特別支援サポート

144,448千円 (122,490 千円)

拡充

▶指導課

区は、特別な支援を要する子どもに対して、各種シート（はばたきプラン、保育支援シート、就学（園）支援シート、教育支援シート）を保護者とともに作成することで、発達段階に応じた切れ目のない支援を行っています。

令和7年度は、就園・就学・進学の際に関係機関が迅速にシートの情報共有し、それを踏まえた適切な支援が計画的に行われるようにするとともに、各種シート作成に係る保護者の負担を軽減するため、各種シート情報を統合した（仮称）千代田区こどもカルテシステムを構築します。

R8 見込額：147 百万円 R9 見込額：147 百万円

いじめ・不登校防止プロジェクト

12,328千円 (10,288 千円)

拡充

▶指導課

区は、いじめ・不登校の未然防止や早期発見、早期対応に向けた取り組みを進めるとともに、スクールソーシャルワーカーの派遣等により、児童・生徒の支援を行っています。また、区立小学校・中学校・中等教育学校全校にSSR（スペシャルサポートルーム）※を設置し、自分のクラスに入りづらい児童・生徒の居場所と学びの場を確保しています。

令和7年度は、SSRを利用する児童・生徒にとって居心地のよい場所となるように各校のSSRの環境づくりを進めます。また、モデル校において通常の教室とは異なる備品を設置し、利用する児童・生徒により適した環境整備と支援を検証します。

※SSR（スペシャルサポートルーム）：クラスに入りづらい児童・生徒が、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できるように設けられた教室

R8 見込額：12 百万円 R9 見込額：12 百万円

発達障害等の療育経費助成

13,500千円 (11,720 千円)

拡充 ▶児童・家庭支援センター

区は、発達障害等の子どもが安心して過ごすことができるとともに、保護者の経済的・精神的な負担を軽減できるよう、専門の療育機関等で相談や検査及び療育指導等を受けた場合に係る経費を助成しています。

令和7年度は、より支援が必要な子どもたち（障害者手帳所持者又は通所受給者証所持者）に対して助成上限額を1万円から2万円に引き上げ、経済的負担をさらに軽減します。

R8 見込額：16 百万円 R9 見込額：18 百万円

子どもの安全・安心

10,473千円 (5,390 千円)

拡充 ▶子ども総務課

児童の登下校時における安全・安心については、地域住民（町会）・保護者・シルバー人材センターによる見守り活動等を行っている一方で、これまで見守り活動の中心だった地域住民の高齢化や夫婦共働き世帯の増加により担い手不足が課題となっています。

令和7年度は、区内大学生と連携した見守り事業の拡大を図るとともに、モデルケースとして1校の区立小学校の通学路上等へ防犯カメラの設置を行い、子どもの見守り体制の強化を図ります。

R8 見込額：21 百万円 R9 見込額：26 百万円